



学びのホームグラウンドじんけん楽習塾



OYA OYA 通信

ひと

人権を「他人ごと」から「自分ごと」へ

6月28日第4回「性・暴力・コミュニケーション」VAW (Violence against women) 研究会のみなさんです。よろしくお願いします。

6月14日3回目の報告

6月14日は「差別はネットの娯楽か? ~ ネット上での差別への取り組みについて ~」松村 元樹 ((公財) 反差別・人権研究所みえ) さんでした。今回はみなさんの感想を紹介して報告に変えたいと思います。



みなさんの感想

●社会が便利になっていく一方で、簡単に差別発言をしてしまったり、また、悪気なく差別発言ができる世の中になってしまったんだなと思いました。ネットの情報は本当に正しいかどうか考えて、情報を得たり自分自身もこの発言が差別につながらないか考えながら発言していると思いました。

●大変勉強になりました。正しい情報発信、数が大切だと感じました。

●もっと運営サイト側が自主的に規制すべき。それができないなら法律で強制的に規制すべきと思いました。

●正しい情報がある環境にありたいと思います。

●「インターネットと人権」情報発信(謝った)の恐さを痛感した。

●内容いっぱい勉強になりました。♪若い人 フェイスブックは しませんわ!♪

●本日は大変勉強になりました。95年にwindowsがスタートし自由な発言な場であるはずのネットの社会が差別を表現する場となっている事を非常に悲しく思いましたし、差別NOを発信するべきと思いました。

●ネット上の無責任な書き込みはモニタリングによる発見、収集、分析、削除しかできないのかな? 書き込ませないのが一番だけ難しいですね。処罰法強化とかできたら良いですね。

●ネットが社会に与える影響の大きさに非常に驚いた。子どもの教育に生かしていきたい。

●ネット上の情報は全てが真実ではなく、それを見極めるスキルを身につける教育や啓発(特に子どもたちに対して)が必要であると日々感じています。

●メディアリテラシーの育成が大事だと改めて考えさせられました。数の力が大きいことで自分もできることを考えたいです。

●Oネットは便利なものゆえに使い方を誤ると大変なことになる。Oしっかり声を上げていき反論していく必要がある。Oプロバイダー、ネット管理者の意識も高める必要がある。

●“メディアリテラシーの育成”の部分パソコン周りに貼るところかなと思います。子どもが高校生で伝え方もむずかしいので。そして自分のためにもです。声を上げることの大切さもよくわかりました。

●メディアリテラシーという点で大人がもっとみていかなければいけないと改めて思いました。ネット検索で上位にくる内容を好意的な内容に変えたい!

●最初はネット等で技術を出すことにより、仕事が増えたという良き事例を紹介して頂いた。このような事例をもう少し教えて頂きたいと思いました。ただネット上の差別がこれほどとは思わなかった為、正直おどろきをかくせませんでした。メディアリテラシー、自分はどうか不安になりました。

●ネット差別への取り組みについては、数の問題やシステムの構築がポイントになるという話があり、そのためには一人でも多くの方に正しい理解を得てもらうためにも“教育”という土俵でがんばっていきたくて思いました。

連絡

参加者の皆さんで宣伝したいチラシ等ありましたら、ご持参ください。おなががすく時間なのでおにぎり、パンなどの軽食はOKです。毎回ふりかえり用紙をくばります。後でメール、ファックスでもいいので送ってくださいとうれしいです。通信に反映させたいと思います。

(公開がだめなものはオープンにしません)

写真を撮影しますが、OYA OYA通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用する場合があります。なるべく個人が特定しにくいものをごと考えていますが、困るとい方は事務局に連絡ください。

●ネットから SNS の急速な発達のために書き込みの問題は大きなものになっており、その中で差別や誤った情報が、簡単に発信できてしまう。そういったことを制御することが今求められていることであり、これは社会全体の責任を思う。また、見る側にもたしかな情報を見定める力も求められており、それは子どもたちにも教育し伝えていくことが必要だと思ふ。

●「寝た子は起こすな」という考え方から、小学校中学校とあまり人権学習をしてこなかった。大人になって改めて人権について学ぶ機会が増え、他人ごとだと思わず、自分ごとだと思つて考えていくことが大切だと思つた。

●途中から参加でしたが、メディアリテラシーの育成、本当に必要だとわかりました。情報が無秩序にあふれているこの社会で何を信じ何が正しいか、しっかり判断できるよう、家庭や学校でできることをしていきます。かなりショッキングな内容でした。ありがとうございました。

●「差別は人を分断する」といいますが、これだけネット上に差別的な情報があふれると、便利で人をつなぐはずのインターネットが人をバラバラにしてしまう道具にもなるんだなと思つました。「つながる」利用のしかたをしたいです。それと掌の世界にひきこもる使い方ではなくてリアルな広がり発展する使い方がしたいです。

●ネット上での差別を少しでも減らすために、何ができるか改めて考え直しました。デマやうわさ偏見を広げることは差別だということをもみんなが共感できるような働きかけをしていきたいと思つます。【も】

●本日の講演を拝聴して、IT 社会の発達とともにネットの長所短所について特に表現の自由の前提のもと、差別コメントの多発とその取締の難しさを痛感しました。それとメディアリテラシーの教育、感覚を見つけることの重要性を教えてくださいました。♪スマホさえ 使えぬオヤジでも モラル知る♪

●今後もインターネットへの差別事象が増えてくる危険性を感じたが、諸外国の先進事例に学び、地道な活動による数の力で常に正しい情報を発信し続ける重要性を学習できた。

●ネット内で差別が野放しになっている状況に驚きました。対抗するには正確な情報を発信し続けることの重要性も学ぶことができました。声を出すことが大切と思つます。

●「ネトウヨに学ぶ情報発信力」という言葉が印象的でした。行政でできることもたくさんあるが、個人としてネット差別に対抗すべき手段がたくさんあると感じました。今ネットでは差別しない人が声を挙げていないだけだと思つます。今日は勉強になりました。ありがとうございました。またアドバイスがほしいです。

●様々な差別事例をきくことが出来大変いい勉強になりました。メディアリテラシーに関する学習を生徒にきちんと教える必要性を感じました。ネット右翼という表現も初めて聞き、リベラルは 99%と負けるというのも初めて聞きました。ネットにくわしくなく本当に良い勉強になりました。

●実態を知る、事実を読み解くことからという手法はとても役に立つと思つました。都合よくイメージでとらえてしまうことが多々あります。ネット上のことも人に伝える時、あいまいな伝え方をすることがデマにつながってしまう。差別を許さないという日ごろの意識が正しい情報をキャッチする力になると思つました。

●近年 SNS やスマホの使用に関する危機感が高まっていると感じる。特に子どものスマホ使用は普及の早さに情報リテラシーの普及が追いついていかないと感じます。大量の情報をどう取舍選択するか、規制のないネット上で子どもたちが知らず知らず差別感情を植え付けられ、加害者の側に立つことの無いように啓発していくか大きな課題だと思つます。

●ツイッターで飛び交う差別発言や偏見に満ちた発言は発信者の意図がそのままに表されていますが、ヤフー知恵袋で部落地区について質問している人のほとんどは他所で受けた影響による差別的な投稿で、本人は自身の質問が差別的であるとも気づいていない。無意識さを感じます。そしてネット上ではこの無意識な層が意識的に差別を拡散する人たちにどんどん取り込まれていっているのだと思つます。ネット上の差別への対処法として削除、反論ばかりが目についていましたが、反差別へ意識を向けることを広げていくことがこれからは重要になるのではないかと思つました。

●今のネットによる差別の広がりについて勉強させていただきました。この学習会のテーマにもあるように他人事としてしまうのではなく、自分事として便利な面はしっかりと使い、おかしなかきこみ、偏見、差別の助長にはカウンターとして、自分たちの見方を広げていかなければならない。ネットが居場所となっている若い子たちに健全な社会で過ごせるように大人たちががんばらなければいけない。♪アカン事 ネット見て鶴呑み 許さぬ差別♪【だいこん】

●差別的な発言や行動は表面化することは少なくなっているが、ネット社会の進展とともに心の実存にあるものがネットに反映されてきているように思ふ。ネットの普及は人権の確立、拡大に効果を生みだしたのも事実。しかし、一度マイナス面に作用すれば、限りなく大きな負の連鎖を生みだすこともまた事実。しかし、人権に対する意識も高まってきていることから、ネットワークの拡大とネットを活用した啓発、正しい呼びかけを続けることにより、府の連鎖を正の連鎖へと変換していくことも決して不可能ではないはずである。今後地道ではあるがこうした継続的な取り組みが必要であると思ふ。

